

## 第2回「大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議」議事要旨

日 時：令和6年10月3日（木）15：30～17：30

場 所：大阪府庁 分館A棟 3階共用会議室

### 議 事

#### （1）国概算要求内容に基づく府の支援の方向性について

- ・ 配付資料に沿って説明。

○ スポーツ庁・文化庁 令和7年度概算要求（部活動改革関連）（資料1）

○ 大阪府 令和7年度の方向性（資料2）

《意見》

（委員）

- ・ 大阪府としての方向性については、地域人材の確保方策としての新たな人材バンクがメインになってくると考えるが詳細はいかがか。

（事務局）

- ・ 詳細については、後ほどゲストスピーカーや事務局からご説明させていただきたい。

//////////

（委員）

- ・ 部活動指導員に対する報酬について、国の補助上限額は現在1時間あたり1,600円。地域によって設定している額に違いはあると思うが、大阪府に関して今後は変わらないのか。

（事務局）

- ・ 国の補助上限額が上がるといった話は今のところないことから、大阪府においても変更は予定していない。

（委員）

- ・ 部活動指導員の予算拡充額については、全国の学校数を考えると十分でなく、今後、地域連携を経て地域移行が進むにつれ、最終的に保護者の負担が増えることにつながっていかないか、懸念している。

//////////

（委員）

- ・ 兵庫県の取組みをヒアリングされたことを踏まえて、府としてはどう取り組んでいく考えがあるのか。

（事務局）

- ・ 市町村の取組み内容が重点地域としての取り組むべき内容に合致する必要があるが、該当する市町村があれば積極的に取り組んでいきたい。

#### （2）令和6年度における取組みの進捗状況等について

○ 国委託事業の活用事例等に係る資料（資料3）

《池田市の事例発表への質疑応答》

(委員)

- ・ 令和9年度から部活動の新規募集を停止し、地域移行をめざすとの目標を掲げているとのことだが、平日の部活動を含めて活動がなくなる計画か。
- ・ ➡ 現在、協議会で議論しているところである。先日、市のPTA協議会に説明をしたところ課題もあると感じている。全ての関係者の理解を得られるように取り組んでいきたい。

//////////

(委員)

- ・ 教育委員会が地域クラブを認可する基準はどういったものを想定しているか。
- ・ ➡ 募集要項等を作成し、基準を設ける予定。

//////////

(委員)

- ・ 部活動を外部人材で実施する場合の財源について、1億円程度かかる見込みとのことだが、これをゆくゆく地域で自立自走できそうな状態か。
- ・ ➡ 現在、会費を徴収して実施している地域クラブがいくつかあり、会費設定に対する受け止めは各家庭で差はあると思うが、そこまで難しい課題ではないと感じている。

//////////

(委員)

- ・ 受け皿となりうる団体から申請が無い競技等については、市内では活動の場がなくなってしまうということか。
- ・ ➡ もう少し委託で受け皿を増やしていくのか、ある程度の会費徴収により受け皿を動かしていくのか、今後検討していく。現状、文化部については手つかずの状態であり社会教育関係団体への働きかけも必要となってくる。特に吹奏楽は検討が必要。

《守口市の事例説明への質疑応答》

(委員)

- ・ 部活動の標準活動時間（17時まで）後、地域クラブ活動に切り替わった場合、生徒は活動場所を移動しないといけないのか、また、教員はどう関わる場合があるのか。
- ・ ➡ 学校での活動で、指導は任意団体が引き続き行う。引き続き指導に従事することを希望する教員については、兼職兼業により教員の立場を離れて関わってもらう形となる。

《アスフィール株式会社の説明への質疑応答》

特になし

《事例発表・質疑応答を終えて》

- ・ 1年前と比べると相当進んでいると感じた。こういった事例を発信することにより、今

後更なる拡がりにつなげていくことができると考える。しかしながら、部活動が担ってきた教育的機能が地域に移っていったとき、それに代わるものを今後学校はどう用意していくのか、課題として生じてくることもあると思われる。

《新たな人材バンクシステムに関する事務局説明への質疑応答》

特になし

(3) その他 全体を通して

《意見》

特になし

**その他**

○ 次回：年明け1月以降を予定。